

2. 単元・単位時間の構造化

(1) 構造化とは

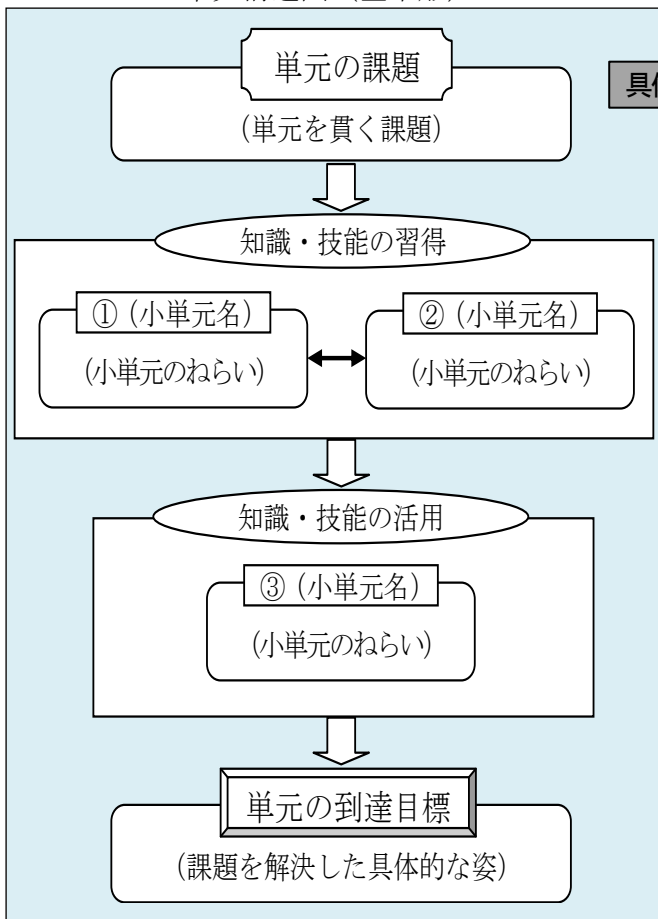
構造化とは、事象の役割や相互の関係を明らかにして位置付けていくことです。単元や単位時間を構造化することで、学習活動の全体像を把握しやすくなり、課題解決の過程が明らかになって、見通しをもった指導ができるようになります。単元や単位時間を構造化し、図に表したものが構造化図です。この構造化図の中に「読取」「解釈」「説明」「論述」を位置付けることにより、これらの言語活動の充実を図ります。

(2) 単元構造化図とは

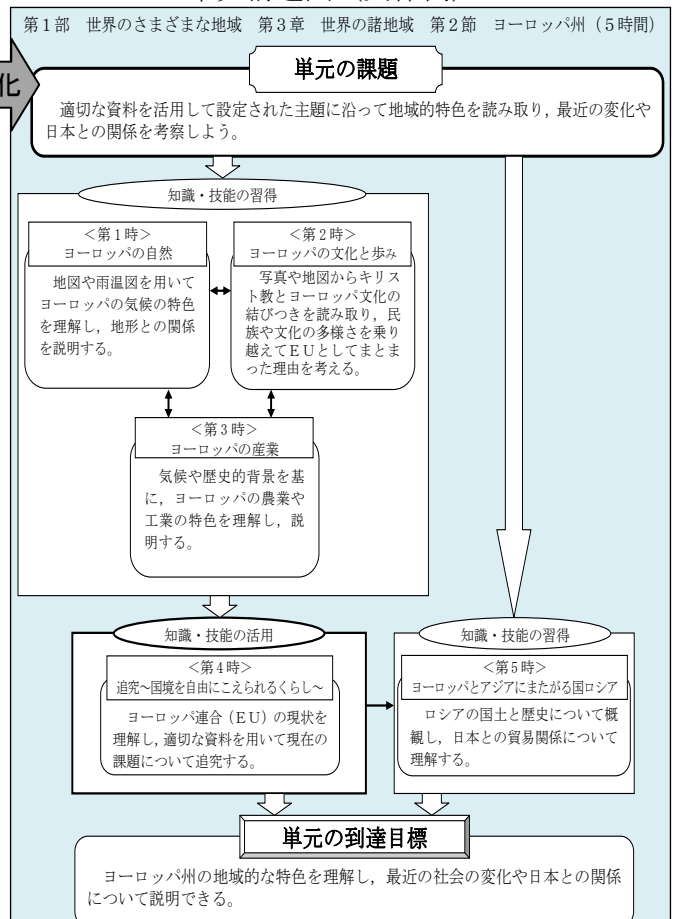
「学習させるべき内容のひとまとまり」を単元と呼びます。中学校学習指導要領社会科には、この単元に当たるものが項目として表記されています。ここでは、大項目、中項目、小項目を、それぞれ大単元、中単元、小単元と呼び変えます。小単元が、そのまま1単位時間に当たる場合もあります。

単元構造化図とは、大単元における各中単元（あるいは中単元における各小単元）について、単元のねらいを用いて、その関係を位置付けた図です。単元には知識・技能の習得を主なねらいにするものと、その活用を主なねらいにするものがあります。それを、知識・技能の習得→知識・技能の活用という流れで縦に位置付け、白抜きの矢印で表しました。それぞれのねらいを達成することで、単元を貫くねらいが達成できると考えます。また、各単元で習得した知識や技能を一部活用したり、学習内容が関わったりする場合は、黒い矢印で表しました。各単元の学習を始めるときに、この図を作成し生徒に配布することで、生徒の主体的な学習をうながします。右下の図は、その具体例です。

<単元構造化図（基本形）>



<単元構造化図（具体例）>

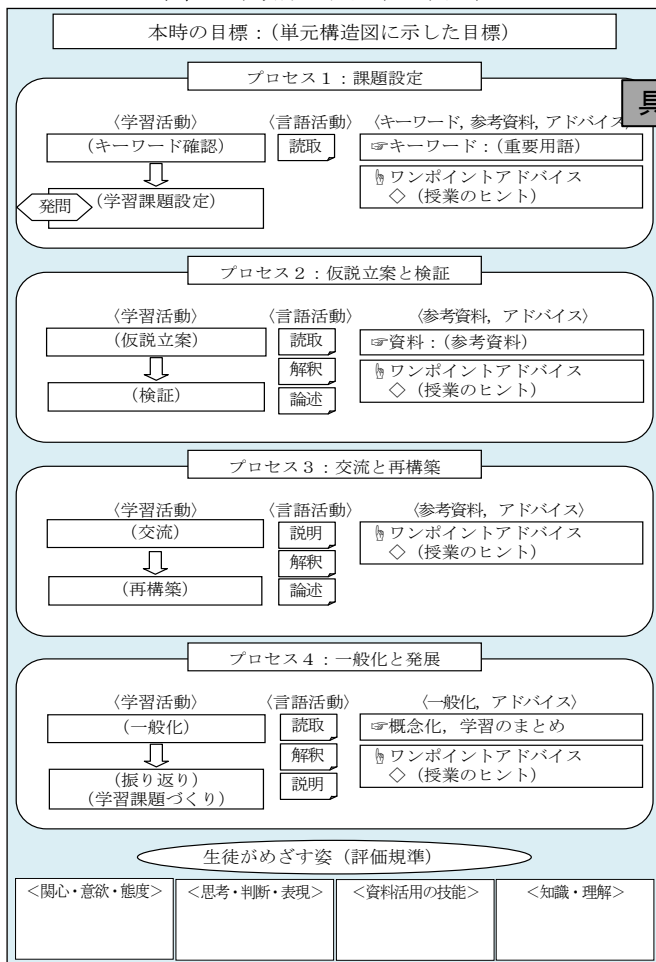


具体化

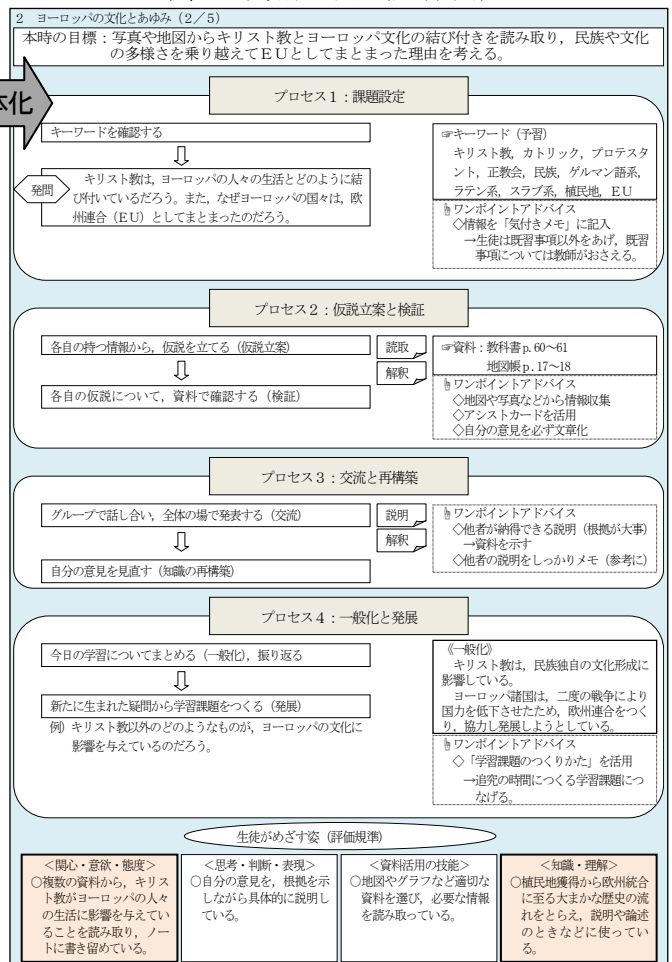
(3) 単位時間構造図とは

単位時間構造図とは、各単位時間の学習活動の流れを構造化し、課題解決のプロセスで表した図です。各単位時間の授業展開を考える際に活用します。図中には、その場面で行いたい言語活動、キーワード（習得させたい知識）、参考資料、指導のためのワンポイントアドバイスも示しました。

＜単位時間構造図（基本形）＞



＜単位時間構造図（具体例）＞



◇各プロセスについて◇

プロセス1：課題設定

プロセス1では、まず家庭学習で教科書から読み取った習得すべき知識を、キーワードとして全体場で確認します。その後、教師が設定した学習課題を提示します。(単元のまとめの時間には、この場面で生徒が学習課題を設定します。)

プロセス2：仮説立案と検証

設定した課題の答えを予想し(仮説立案)、その根拠となる資料を探します(検証)。その後自分で調べたり考えたりした結果を、プロセス1で挙げたキーワードを活用し、文章にまとめます。

プロセス3：交流と再構築

プロセス2で文章にまとめた意見(単元のまとめの時間には各自が考えた学習課題)を、小グループでお互いに説明し交流します。そして他の生徒の意見を聞いて、自分の考えを見直します(知識の再構築)。その後、交流した結果について、全体で交流します。

プロセス4：一般化と発展

その時間に学習した内容を概念化したり、まとめたりします(一般化)。更に、その時間の学習についての振り返りを行い、新たに生まれた疑問を基に各自で学習課題をつくります(発展)。

《プロセス1》
課題設定

《プロセス2》
仮説立案と検証

《プロセス3》
交流と再構築

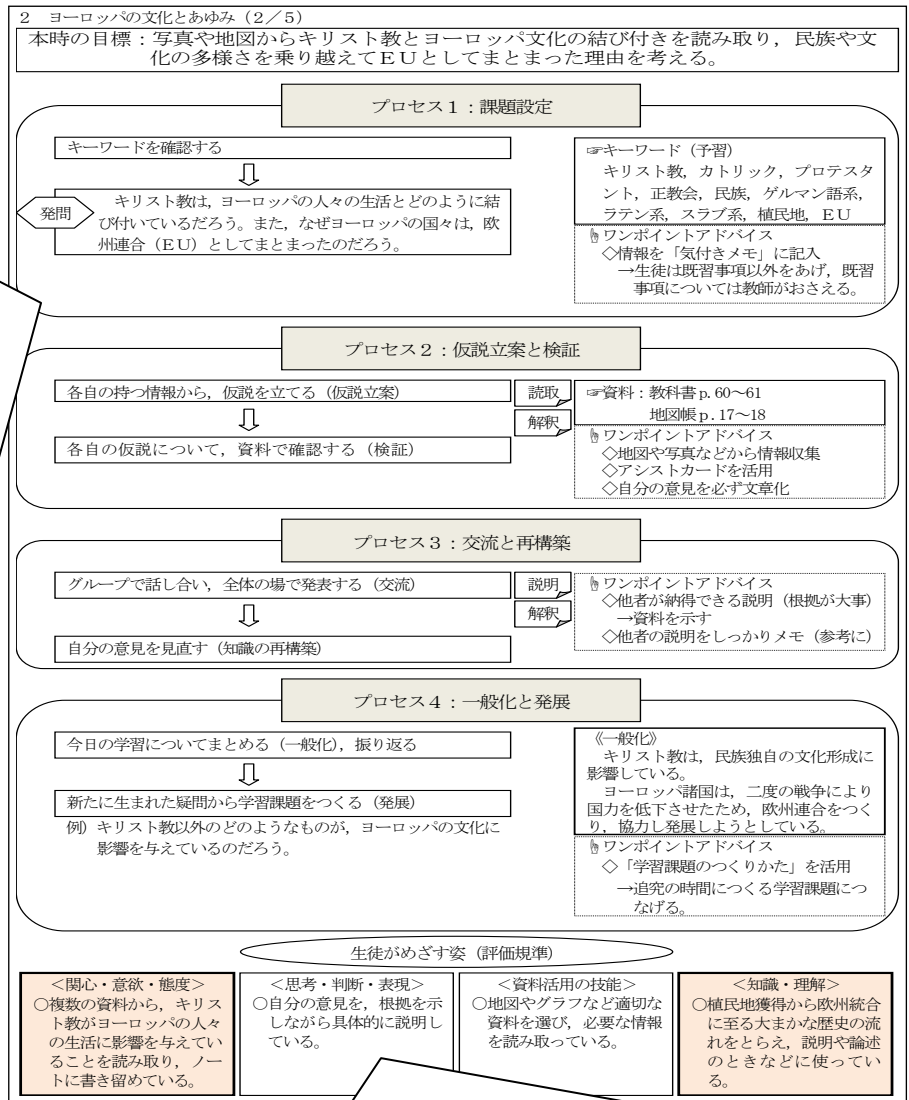
《プロセス4》
一般化と発展

(4) 単位時間構造図の活用マニュアル

単位時間構造図に基づいて授業を行う場合の手順について説明します。単位時間構造図は、各単位時間の学習活動を構造的に表したものであるため、学習指導案のように、予想される生徒の反応や細かい留意事項などについては、示していません。下のマニュアルを参考に、学習活動の内容や学級の状況に合わせて、具体的な授業展開をイメージし、指導を行うようにしてください。

例) 地理的分野「ヨーロッパ」

【単位時間構造図】



《各プロセスの時間配分》
各プロセスの適切な時間配分の目安を、次のように考えます。

- 《プロセス1》 課題設定 ☞ 5～10分
- 《プロセス2》 仮説立案と検証 ☞ 15～20分
- 《プロセス3》 交流と再構築 ☞ 15～20分
- 《プロセス4》 一般化と発展 ☞ 5～10分

しかし、活動内容によって各プロセスの軽重は変わってきます。「一般化」の過程を省いたり、一つのプロセスを全て省いたりするということも考えられます。

《評価規準の作成》

ここに示した評価規準は、学習活動における生徒の「行動目標」です。評価の観点から見た、生徒の具体的な姿を表しています。そのため、京都市スタンダード指導計画に示されたものとは、表現が異なります。次に例示するのは、地理的分野における、それぞれの観点についての評価規準の基本形です。

- 関心・意欲・態度…複数の情報を資料から読み取り、ノートに書き留めている。
- 思考・判断・表現…自分の意見を、根拠を示しながら具体的に説明している。
- 資料活用の技能…地図やグラフなど適切な資料を選び、必要な情報を読み取っている。
- 知識・理解…必要な知識を身に付け、説明や論述のときなどに正しく使っている。

各単位時間構造図では、学習活動の内容に沿って評価する観点（着色してある観点）を絞り込み、具体的な内容を示しています。それ以外の観点については、基本形を記載しています。

《単位時間構造図から学習指導案へ》

単位時間構造図から、実際の授業展開をイメージして、学習指導案を作成します。下は、その一例です。

- ①学習過程は、四つのプロセスを用いて表します。
- ②キーワードは、留意点の中に「～を確認する」というような形で表記します。
- ③言語活動は、どの場面で意識して取り組めばよいのかがわかるように、学習活動の中で挙げます。
- ④評価規準は、評価場面で評価方法とともに挙げます。

※キーワードの活用については、「4. キーワードを活用した論述」を参照してください。

【学習指導案（本時案）】

過程(分)	学習内容	学習活動(◇), 予想される生徒の反応(・)	指導上の留意点(○)・支援(*)・評価(【】)
プロセス1 7分	1. キーワード・キーセンテンスの確認	◇家庭学習であげたキーワード・キーセンテンスを、全体で確認する。	○事前学習ができているか、机間指導で確認する。 ○キーワード・キーセンテンスを板書し、特に重要なものについては、意味や内容も確認する。
プロセス2 40分	2. キリスト教の影響とヨーロッパのあゆみ	◇教科書の資料から、キリスト教がヨーロッパの人々の生活とどのように結び付いているのかを読み取る。 読取 解釈 ・ヨーロッパ各国には、キリスト教に関わる祭りがある。 ・キリスト教の宗派の分布は、ヨーロッパの言語の分布と似ている。 ・キリスト教の宗派が違うから、民族の文化に違いがある。 ◇教科書の本文や略年表から、ヨーロッパ諸国が欧州連合(EU)としてまとまった理由を探して文章にまとめる。 ・ヨーロッパの国々は、植民地をつくり、国力を伸ばした。 ・国や民族の対立で戦争を繰り返し、力が低下した。 ・アメリカなどの大国に対抗するために協力して発展していこうと考え、欧州連合をつくった。	*「ドイツの祝祭日」などの教科書の資料を示し、そこからキリスト教に関わるものを探すことで、結び付きについてあげられるようにする。 ○「キリスト教の宗派の分布」と「言語の分布」の資料にも注目するよう指示する。 【関心・意欲・態度】 複数の資料から、キリスト教がヨーロッパの人々の生活に影響を与えていることを読み取り、ノートに書き留めている。(ノート) *「植民地」「民族」「戦争」というキーワードを示すことで、歴史の大まかな流れをとらえることができるようにする。
プロセス3 5分	3. 説明内容の検討	◇各自が考えをグループで交流し、結び付きと欧州連合成立の理由をまとめる。 説明 解釈 ◇グループでまとめた意見を、全体の場で発表し交流する。	○どの資料から読み取ったのかを説明できるようにする。 ○「資料からわかったこと」と「自分で考えたこと」の違いを意識できるようにする。
プロセス4 8分	4. 学習のまとめと課題づくり	◇今日の学習内容を一般化する。 ◇振り返りを書く。 ・キリスト教がヨーロッパの人々の文化と深く結び付いていることがわかった。 ・欧州連合(EU)をつかって、ヨーロッパの国々が協力して発展していこうとしていることがわかった。 ◇今日の授業で新たに生まれた疑問を基に、各自で学習課題をつくる。 ・EUとはどのようなものだろう。	○キリスト教は、民族独自の文化形成に影響している。ヨーロッパ諸国は、二度の戦争により国力を低下させたため、欧州連合をつくり協力し発展しようとしている。 【知識・理解】 植民地獲得から欧州統合に至る歴史の流れを、大まかにとらえている。(ノート) *「わかったこと」と「まだわからないこと」を箇条書きであげることで、文章化できるようにする。 ○「学習課題のつくりにかた」を参考にして、学習課題を考えるようにする。

2

《言語活動について》

言語活動については、「活用」を図る学習活動に基づき、次のようにとらえ、位置付けています。

読取 課題解決のために必要な情報を資料から引き出すこと

解釈 読み取った情報の意義や特色、関連などをとらえること

説明 解釈した内容を、根拠を明らかにしながら表現し伝えること

論述 自分が価値判断や意思決定した内容を、文章に書き表すこと

4